

地域の声を聴かせてください

網走市の高齢化率は令和5年2月末現在で約33%（3人に1人が65歳以上）です。今後も高齢化が進み、日常生活をおくる上で「できないこと」「困ること」「不安なこと」等が増えることが予想される中、少子化に伴う「担い手不足（支え手不足）」も深刻化しております。

年齢を重ねても住み慣れた地域で安心して暮らしていける環境づくりを進めるにあたっては、幅広い世代の住民の皆様の考えをお聴きし、地域づくりに反映させて、それぞれの地区にあった取り組みを進めることが重要となります。

今後は、地区単位での「話し合いの場を中心とした取り組みの推進」及び「話し合いの場未設立地区への設立支援」を進めながら、1歩ずつ取り組みを進めて参りますので、住民の皆様のご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。



支え合いの地域づくり研修会を開催しました

令和5年2月25日（土）、各地区の話し合いの場に参加している皆様やこれから話し合いの場の立上げを検討している皆様を対象に、「地域づくりへの理解」「活発な話し合いの場の重要性」「他地区との交流や情報交換」等を目的に研修会を開催しました。

市内各地区から合計78名の方にご参加いただき、グループワークでは、自分達の地域の実情を踏まえながら活発な意見交換がなされ、地域づくりへの理解の高さを感じました。

今後の活動に向けた大きなヒントを得ることができたのではないのでしょうか。



お問合せ先

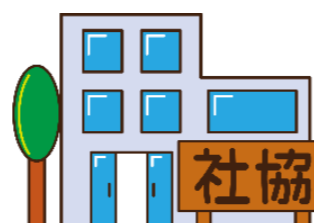
社会福祉法人 網走市社会福祉協議会

〒093-0061

網走市北11条東1丁目 総合福祉センター内

電話 (0152) 43-2472

FAX (0152) 43-3919



生活支援体制整備事業 進捗状況のご報告

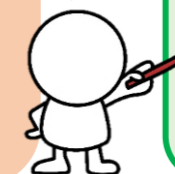
網走市社会福祉協議会では、**年齢を重ねても、住み慣れた地域で生きがいを持ちながら、自分らしい生活がおくれる環境づくり**を住民の皆様や関係機関等と連携を図りながら進めていく「生活支援体制整備事業」に取り組んでおり、令和5年度で事業開始から7年目を迎えます。

この取り組みは「**住民が主役**」です。これまで各地区での話し合いの場を中心に、皆様のご意見をお聴きし、地区の考え方やスピードを尊重しながら、そこに住む住民の皆様の知恵と力を生かした地域づくりを1歩ずつ進めて参りました。

今回は、令和2年4月～令和5年3月までの主な取り組みをご報告させていただきます。

どのような地区で進めているの？

町内会の地区割でもある「地区連合町内会」を基盤に、17地区において「話し合いの場づくり」や「地域課題の解決に向けた協議や取り組み」を進めています。



- | | | |
|--------|----------|----------|
| ①西地区 | ②北地区 | ③向陽ヶ丘地区 |
| ④台町地区 | ⑤鉄南地区 | ⑥呼人地区 |
| ⑦東部地区 | ⑧南部地区 | ⑨西網走地区 |
| ⑩桂町地区 | ⑪鱒浦地区 | ⑫南西・南東地区 |
| ⑬潮見地区 | ⑭つくしヶ丘地区 | ⑮駒場地区 |
| ⑯天都山地区 | ⑰新町地区 | |

～課題解決へ向けた取り組みをご紹介します～

各地区での協議や調査から見てきた課題やご意見を踏まえた取り組みの一部を3つのカテゴリーでご紹介します。
記載以外の地区においても、地域課題の解決に向けた取り組みを検討・準備しています。

生活支援

「高齢者お役立ち情報」を発刊しました

高齢の方が安心して暮らすために役立てていただけるよう、網走市内の団体や企業等で行っている「社会参加」と「社会資源」の情報を掲載した「高齢者お役立ち情報」を関係機関・団体と連携し発行しました。



いざという時のために情報を集めておくことで今後のより良い暮らしにつながります。まだお持ちでない方がいらっしゃいましたら、是非お受け取りください。

〔設置場所〕

*網走市役所 *総合福祉センター *市内各コミセン・住民センター
*エコーセンター2000 *地域包括支援センター りんく・マウニ

生活支援事業を新設しました

高齢者や障がい者、支援者の「生活上のちょっとした困りごとに対応するサービスが欲しい」の声を受け、住民の力を借りて支援する有償サービス「日常生活のちょこっとお手伝い事業」を網走市社会福祉協議会が立上げ、運用を開始しました。



課題解決をサポート！地域担当職員を配置しました

住民の皆様の上の困りごとをお聞きし、課題解決に向けたお手伝いを行うとともに、地域の皆様と連携して住民主体の地域づくりを進めるため、地区を担当する職員（コミュニティーソーシャルワーカー）を網走市社会福祉協議会に配置しました。

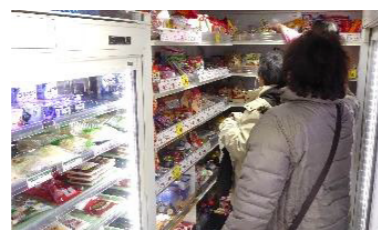
移動販売車の配車を実現しました

地域に買い物環境がないとの声を受け、生活協同組合コープさっぽろ様と協議を重ね、新たに向陽ヶ丘地区・桂町地区・鱒浦地区に移動販売車「おまかせ便カケル」の配車を実現しました。



心待ちしていた地区ではテープカットのサプライズも！

自分の目で商品を選び、お買い物を楽しんでいます。



交流の場

気軽に立ち寄れる場づくり

西地区では、子どもから高齢の方まで誰もが気軽に立ち寄れる「地域交流の場」「相談ができる場」「語らいの場」として、地域にある西コミュニティセンターのホールラウンジを活用してコミュニティカフェ「いこいのわ」を開設しました。コーヒーを飲んだり、読書やお話等、思い思いに利用されています。



身近にある社会参加の場を住民に知ってもらおう！

鉄南地区では、身近にある既存の「地域の活動・通いの場」である「各町内会」「高齢者ふれあいの家」「鉄南青空良い子の会」を知ってもらい参加いただけるよう、活動情報を掲載したリーフレットを作成し、町内会が中心となり周知を行いました。

地域づくりでは、新たな活動を作るだけではなく、今あるものを活用し充実させることも大切な視点ですね。

住民どうしの交流を深める場づくり

鉄南地区では、若い世代に向けた地域活動への理解と参加の促進を図るため、住民誰もが交流できる場として「ゲーム交流会」を開催しました。親子連れ、幼児、小中学生、高齢者との世代間交流ができ、住民同士のつながりが深まりました。



初めて地域の活動に参加した親子連れや子ども達からは「またこのような機会があれば是非参加したい」、高齢者の方々からは「若い世代と交流ができてたくさんの元気と楽しい時間をもらいました」との声も聞かれました。



学びの場

「治安」の良い地域を目指して

つくしヶ丘地区では、住民が安心した生活を送れるよう「防犯」をテーマに研修会を開催しました。駒場交番にご協力をいただき



「犯罪発生件数」「身近に潜む犯罪事例やその対処法」等を学ぶ場として、子どもから高齢者まで幅広い年齢層にご参加いただき、関心の高さを感じました。

参加者からは「とても具体的で分かりやすかった」「交番が身近に感じた」「今後も続けて欲しい」などの声が聞かれました。

地域の支え合いで「除雪」の課題を考える

潮見地区では、生活課題アンケート調査の結果、一番多い困りごとである「除雪」をテーマに研修会を開催しました。

身近にあるサービスや社会資源の情報提供、地域の支え合いの事例紹介を行いました。



福祉事業所との情報交換

天都山地区では、地域内での生活課題が増えることを踏まえ、同じ地域にある福祉事業所と日頃から連携できる関係を作るため、情報交換や勉強会、福祉車両体験会を行いました。



「防災」×「福祉」防災訓練を開催しました

西地区では、災害が発生した際、誰もが安全に避難できるよう「防災」と「福祉」をテーマに避難訓練を実施しました。

多くの住民が参加し、実際に車いすの介助方法を学び、避難時における住民同士の助け合いの重要性を体感しました。

